

VMware Workspace ONE: Deploy and Manage plus UEM Troubleshooting Fast Track (VMware Workspace ONE: 導入と管理および UEM のトラブル シューティングの短期集中コース)

コースについて

この 5 日間の集中コースでは、Workspace ONE UEM を使用してインテリジェンスベースのマルチプラットフォーム エンドポイント管理ソリューションを立ち上げ、維持するための基本的な手法について学習します。ハンズオン ラボ、シミュレーション、対話型の講義を通じて、エンドポイント ライフサイクルを構成し、管理します。Workspace ONE UEM を効果的に実装するための基本的な知識が得られます。

また、任意のデバイスからビジネスクリティカルなアプリケーションを安全に配布し、アクセス管理コントロールを構成するために、VMware Workspace ONE® Access™ と Workspace ONE UEM を統合するための基本的な技術の応用方法について学習します。ハンズオン ラボ、シミュレーション、対話型の講義を通じて、Workspace ONE Access、エンタープライズ、および生産性統合を構成します。Workspace ONE でさまざまな認証方法およびプロトコルを使用して、ユーザー アクセス権限を決定し、シングル サインオンを有効にする方法について基本的な理解が得られます。ID およびアクセスの管理の基本的な原則を学習します。

最後に、VMware Workspace ONE® UEM のあらゆるコンポーネントで発生する可能性のある問題を調査、分析、特定する方法も学びます。管理者は、製品の問題の効果的なトラブルシューティング方法を理解することで、製品サービスにおいてどのようなコミュニケーションが行われ、どのようにしてサービスが機能するかを知ることができ、サービスとソフトウェアの健全性管理を最適化することができます。トラブルシューティングは、サービスのメンテナンスと管理の基盤です。

コースの目標

このコースを修了すると、次のことができるようになります。

- Workspace ONE UEM で実現される全般的な特徴や機能について説明する
- 必須の Workspace ONE 管理機能について説明する
- Workspace ONE の共有の連携機能について説明し、実装する
- Workspace ONE UEM とディレクトリ サービスの連携について説明する
- Workspace ONE エッジ サービスを説明し導入する
- Workspace ONE UEM にデバイス エンドポイントをオンボーディングする
- Workspace ONE UEM 管理デバイスに安全に構成を導入する
- 環境と多量のデバイスの健全性を維持する
- Workspace ONE UEM 管理デバイスにアプリケーションを導入する
- Workspace ONE UEM 環境を分析する
- Workspace ONE Access で利用できる全般的な機能について説明する
- Workspace ONE UEM と Workspace ONE Access を統合する
- Workspace ONE 業務サービスについて理解し、デジタルワークスペース環境に実装する
- デジタルワークスペースで管理されるモバイル エンドポイントのモバイル シングル サインオンを有効にする方法について説明する

- 基本的なトラブルシューティングの手法を理解する
- Workspace ONE UEM Console での一般的なトラブルシューティングの手法の概要を理解する
- エンタープライズ ソリューションと Workspace ONE UEM Console を統合する際の一般的なトラブルシューティングの手法の概要を理解する
- UEM で管理されたデバイスの一般的なトラブルシューティングの方法を理解する
- Workspace ONE UEM Console でのアプリケーション管理の一般的なトラブルシューティングの手法の概要を理解する
- Workspace ONE UEM Console での E メール管理の一般的なトラブルシューティングの手法を理解する
- Workspace ONE UAG プラットフォームおよび個別のエッジ サービスの一般的なトラブルシューティングのアプローチを説明する
- セルフサービス ポータルや Workspace ONE Assist などの便利なトラブルシューティングのツールの概要を理解する
- ワークフォース全体で SAML 2.0 のフェデレーション認証をサポートするように、Workspace ONE Access を準備して構成する

対象者

Workspace ONE UEM の運用担当者および管理者、アカウント マネージャ、ソリューション アーキテクト、ソリューション エンジニア、セールス エンジニア、コンサルタント

前提条件

このコースに前提条件はありません。

受講方法

- 教室開催
- ライブ オンライン
- [一社様向けオンサイトトレーニング](#)

コースのモジュール

1 コースについて

- 概要およびコースの流れ
- コースの目標

2 プラットフォーム アーキテクチャ

- Workspace ONE 統合エンドポイント管理(UEM)の特徴や機能を説明する
- Workspace ONE UEM を活用するメリットの概要を説明する
- Workspace ONE UEM プラットフォームを構成するコアコンポーネントおよび業務コンポーネントを認識する

3 管理

- Workspace ONE Hub サービスの特徴や機能について説明する
- 階層的管理構造について理解する
- Workspace ONE UEM Console を操作およびカスタマイズする
- アカウント オプションと権限を概説する

4 エンタープライズ システムとの連携

- ディレクトリ サービスと連携するプロセスと必要性について概説する
- Workspace ONE での証明書の認証と実装について説明する
- Workspace ONE UEM Console に E メール SMTP サービスを組み込むメリットについて説明する

5 オンボーディング

- 管理用のデバイスをオンボーディングするための Workspace ONE UEM 環境での前提条件の構成を概説する
- Workspace ONE UEM Console での自動検出を設定する手順の概要を理解する
- Workspace ONE Intelligent Hub アプリケーションを介してエンドポイントを加入させる
- プラットフォームのオンボーディング オプションについて理解する

6 エンドポイントの管理

- デバイス プロファイルとユーザー プロファイルの違いについて説明する
- Windows 10 と macOS のポリシー管理オプションについて説明する

7 代替管理方法

- 機能と使用するメリットについて説明する
- Workspace ONE UEM Console で製品プロビジョニングを構成する
- Workspace ONE Launcher 構成を Android デバイスに導入するメリットを理解する

8 アプリケーション

- Workspace ONE UEM におけるアプリケーション管理の特徴、メリット、機能について説明する
- Workspace ONE UEM Console での公開、内部、および有料のアプリケーションの導入設定を理解して構成する
- Apple Business Manager コンテンツ統合を使用するメリットを理解する
- サーバからクライアントへのソフトウェア配布を使用するメリットを理解する
- Workspace ONE SDK の機能とメリットをリストする

9 デバイスの E メール

- Workspace ONE UEM でサポートされている E メールクライアントについて理解する
- Workspace ONE UEM Console で EAS プロファイルを構成する
- Workspace ONE Boxer の設定を構成する
- 使用可能な E メール インフラストラクチャ統合モデルを概説し、そのワークフローについて説明する

10 コンテンツ共有

- Content Gateway と Content Gateway ワークフローを使用するメリットについて説明する
- コンテンツリポジトリを Workspace ONE UEM と統合するメリットを理解する
- Workspace ONE UEM Console でリポジトリを構成する

11 メンテナンス

- メンテナンスをサポートするコンソール ツールを特定する
- 環境のセキュリティを保護できる順守ポリシーの実装方法を分析する
- Workspace ONE Assist で実現される特徴や機能を概説する

12 インテリジェンスと自動化

- Workspace ONE Intelligence で実現される機能を概説する
- 自動化について理解し、導入する
- 順守ポリシーを使用する機能とメリットについて説明する
- Freestyle Orchestrator のユースケースについて説明し、Freestyle ワークフローについて理解する
- センサーおよびスクリプトの機能と、それらを作成する手順の概要を理解する

13 Workspace ONE Access

- Workspace ONE Access のメリットを説明する
- Workspace ONE Access で実現されるコア機能を概説する
- Workspace ONE Access コンソールを操作する
- Workspace ONE Access とのディレクトリ連携の機能について説明する

- Workspace ONE Access によって使用可能になる、さまざまな種類の認証プロトコルについて説明する

14 UEM と Access の統合

- UEM と Access を統合する理由を説明する
- UEM と Access の接続のプロセスの概要を理解する
- 統合のワークフローを調べる
- 統合ソリューションの主要機能について説明する

15 生産性統合

- UAG で有効になる機能を理解する
- SEG エッジ サービスの目的を概説する
- VMware Tunnel エッジ サービスで有効になる機能について説明する
- Content Gateway エッジ サービスで有効になる機能について説明する

16 SAML 2.0 認証

- Workspace ONE Access でサポートされている認証方法を概説する
- SAML プロトコルの主要プロパティについて説明する
- SAML 認証ワークフローについて理解する
- SAML を使用したアプリケーション SSO 認証ワークフローについて説明する

17 モバイル シングル サインオン

- モバイル シングル サインオン(SSO)の概念について理解する
- モバイル SSO ワークフローを概説する

18 UEM のトラブルシューティングの基礎

- ソフトウェアのトラブルシューティングのロジックとサポート方法を概説する
- 主要コンポーネントのプロセス フローを知ることがどのように製品の問題のトラブルシューティングに役立つかを説明する
- 統合コンポーネントのプロセス フローを知ることがどのように製品の問題のトラブルシューティングに役立つかを説明する
- Workspace ONE UEM のさまざまなログ ファイルについて理解する

19 UEM Console のトラブルシューティング

- UEM Console の問題のトラブルシューティングのベストプラクティスを概説する
- グループ管理と割り当てに関する一般的な問題を特定する
- UEM Console のシステム設定とロールの一般的な問題を概説する
- 分析イベントを使用してプラットフォームのエラーを特定する方法を理解する
- Workspace ONE UEM Console のログの収集および分析の手順について説明する

20 統合のトラブルシューティング

- Workspace ONE UEM での一般的なエンタープライズシステムとの連携を概説する
- AirWatch Cloud Connector の一般的なトラブルシューティングの手法を概説する
- ディレクトリ サービスの統合に関連する問題のトラブルシューティング
- ディレクトリ ユーザーおよびグループの同期の問題について理解する
- 証明書認証局の統合に関連する問題のトラブルシューティング
- Workspace ONE Access の統合と Workspace ONE Intelligent Hub のトラブルシューティングの手法を説明する

21 エンドポイントのトラブルシューティング

- Workspace ONE UEM のエンドポイント接続のトポロジを比較する
- エンドポイントのトラブルシューティングに便利なツールとリソースを概説する
- デバイスの加入のトラブルシューティングのベストプラクティスについて理解する
- デバイスの接続性のトラブルシューティングの手法を説明する
- プロファイル関連の問題を特定および解決する方法について理解する
- 順守ポリシーの一般的な問題と、考えられる根本原因を特定する

22 アプリケーションのトラブルシューティング

- アプリケーションのさまざまなタイプとトラブルシューティングの範囲設定の質問について理解する
- アプリケーション管理の設定を確認する
- アプリケーションのトラブルシューティングのための一般的なツールとリソースについて説明する
- パブリック アプリケーションのトラブルシューティングの一般的なロジックについて説明する
- 内部アプリケーションの問題と考えられる原因について理解する
- 購入したアプリケーションのトラブルシューティングの手法を説明する

23 UAG およびエッジ サービスのトラブルシューティング

- UAG のアーキテクチャおよびエッジ サービスのワークフローを確認する
- UAG の一般的な設定について理解する
- UAG 関連のトラブルシューティング ツールおよびリソースの活用方法を説明する
- UAG の Content Gateway の一般的な問題を特定および解決する
- UAG の VMware Tunnel のトラブルシューティングの手法を説明する

24 その他のトラブルシューティング ツール

- セルフサービス ポータルが管理者にとってどのように役立つか、およびエンドユーザーの問題の解決をどのようにサポートするかを理解する
- Workspace ONE Assist がエンドポイントのトラブルシューティングにどのように役立つかを理解する

お問い合わせ

このコースに関するご質問や登録方法については、
japan-education@vmware.com までお問い合わせ
ください。



VMware株式会社 〒108-0023 東京都港区芝浦 3-1-1 田町ステーションタワーN 18 階 www.vmware.com/jp

© 2021 VMware, Inc. All rights reserved. 本製品またはワークショップ資料は、米国および国際的著作権法および知的財産法によって保護されています。VMware 製品は、<https://www.vmware.com/download/patents.html> のリストに表示されている 1 件または複数の特許対象です。VMware は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。他のすべての名称ならびに製品についての商標は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

VMware は、一般的に認められている業界基準と慣例を使用して妥当な方法で、ここで記載されているワークショップ サービスを提供することを保証します。上記明示保証は、VMware が提供するサービスおよび成果物、ならびにそれらのサービスおよび成果物から得られる結果に関する、明示、黙示、法定、その他のあらゆる保証（商品性に対する黙示保証および特定目的に対する適合性の黙示保証を含みます）に代わるものです。VMware は、お客様に対して特定または参照した、いかなる第三者のサービスまたは製品に対しても責任を負いません。本ワークショップにおいて提供される資料（以下「ワークショップ資料」といいます）の著作権は VMware に帰属します。VMware は、お客様が許諾を受けた VMware 製品についての社内での理解、利用、運用を促進する目的に厳に限定して本ワークショップのお客様にワークショップ資料の使用および合理的な範囲でコピーを作成することを許諾します。前述の明示された場合を除き、本ワークショップの条件の下で許諾された知的財産権およびその他のいかなる許諾された権利を他者に譲渡することを禁止します。米国内のお客様の場合、サービスに関する VMware の契約当事者は、VMware, Inc. になります。米国外のお客様の場合、サービスに関する VMware の契約当事者は、VMware International Limited になります。